



間山キセさん、100歳長寿おめでとう

間山キセさん（富范町）が3月15日、めでたく満100歳の誕生日を迎えられ、入所しているゆうあいの里で長寿を祝いました。

キセさんは、明治44年生まれで夫の利徳さんとは死別したものの、子ども6人、孫11人、ひ孫18人、玄孫1人に恵まれました。夫婦2人で養豚業を始め、豚の世話から種付けまで何でも器用に仕事をこなしたそうです。今では耳が遠くなったものの食事でも自分できちんと食べているとのこと。

この日、ゆうあいの里を訪れた三上介護課長は顕彰状と花束を手渡し「これからも元気で長生きされることをお祈りします」とお祝いの言葉を述べました。



家族らに囲まれ記念写真におさまる間山キセさん



協定書を交換する吉沢局長（左）と福島市長

森田郵便局での証明書交付事務の協定を締結

市と郵便局株式会社とのつがる市証明書交付事務協定書締結式が3月18日、市役所で行われました。

これは4月から森田郵便局で住民票の写しなどの交付を行うためのサービスを提供するための協定で、郵便局での証明書交付事務は県内において4例目となります。

締結式では、福島市長が「今後の行政サービスの向上と事務の効率化が図られるものと期待しています」とあいさつ。郵便局株式会社の吉沢隆治・弘前松ヶ枝郵便局長（東北支社長代理）が「行政と連携したサービスを提供することにより住民の皆さんのお役に立てることを嬉しく思います」と述べ、協定書を交換しました。

ぽっこりお腹にさようなら 健康づくりの集い

特定保健指導に参加している人を対象にした健康づくりの集いが2月14日と21日、松の館で開催され、健康の大切さや運動不足解消の方法などについて学びました。

これは特定保健指導に参加している人を対象に市が実施したもので、約40人の市民が参加しました。

参加者は、クイズ形式で健康の大切さについて知識を深め、その後、イスを使って気軽にできる筋肉トレーニングを行い、心地よい汗を流しました。

参加者はそれぞれヘルシーライフ宣言として目標を立て、次回健診に向けて決意を新たにしていました。



自宅でもできる筋肉トレーニングに取り組む参加者



大空高く舞い上がる風を操る参加者

大空高く舞い上げれ 稲垣風揚げ大会

第17回稲垣風揚げ大会が稲垣町の岩木川河川公園で開催され、県内外から40団体、約300人の愛好者たちが集まって風揚げの腕前を競い合いました。

同大会は稲垣風の会（横山勇一会長）が主催。競技は各部門に分かれて行われ、風の揚げ方、安定度、鳴りなどの審査が行われました。この日は風に恵まれ、大風や創作風が空高く舞い上がり、大きな歓声が沸いていました。

結果は次の通り。（敬称略・最優秀賞のみ）

子供の部：石澤芽依、Aクラス：佐藤公祐、Bクラス：三浦忠繁、Cクラス：寺嶋利則、団体の部：岩木風の会、創作の部：外崎豊満



グローバルな視点で農業を学ぶ 市認定農業者研修会

2月16日、松の館でつがる市認定農業者研修会が開催され、市内の認定農業者をはじめ関係者ら約200人が参加しました。

研修会では、青森農政事務所職員から農業者戸別所得補償制度についての説明後、アメリカ在住マキタファーム経営者の田牧一郎氏が「競争力のあるコメ作り」と題して講演を行いました。田牧氏はアメリカでカリフォルニア米を販売してきた経験談を披露し、アメリカの大規模農業の実態をビデオを交えて紹介。日本とアメリカの稲作を比較したうえで「日本の自己完結型の農業はコストが高い。世界と競争するためのコストダウンが課題」と話し、参加者は熱心に聞き入っていました。



田牧氏の講演に耳を傾ける参加者



福島市長に受賞報告する荒谷さん（右）

地域の環境保全に貢献 生活環境改善功労者表彰を受賞

多年にわたり生活環境の改善に尽力してきた荒谷政志さん（夢庭志仙会理事長）が県知事から生活環境改善功労者表彰を受賞しました。これは、循環型社会の推進や環境保全意識の高揚を目的に表彰を行っているもので、平成22年度は県内の5団体、5個人が受賞しました。

荒谷さんは20年間、柏中学校の庭木の手入れや農業用水路の石積による景観保全活動など環境保全に取り組み、その貢献が評価されました。

3月10日、受賞の報告に市役所を訪れた荒谷さんは「長年のボランティア活動が認めて貰えてうれしい。今後は観光の分野として、農家レストランにも取り組みたい」と話していました。

アメリカの文化に触れ、理解深める

3月の毎週水曜日、アメリカのさまざまな文化に触れ、海外で役立つ英会話を学んでもらおうと「アメリカの文化・英会話講座」が松の館で行われ、約20人の市民が参加しました。

講座では、モーゼス・マイケル国際交流員が講師として空港やレストラン、ホテルなどで使う英語を紹介し、参加者はグループに分かれて練習した後、実際に役割を決めて、英会話を体験していました。

また、文化紹介では、アメリカの料理やジェンダー、移民などのテーマについて参加者に質問を投げかけ、日本の文化との違いなどについて活発な意見の交換を行っていました。



国際交流員との生の英会話を体験



温室内に咲くサイネリア

サイネリア春の彩り

柏ガラス温室では毎年、市立保育所や小中学校の卒業式を彩るサイネリアの花を栽培し、提供しています。2月中旬から淡い紫色やピンク色、白色の5品種約2,400鉢のサイネリアの花が温室内を鮮やかに彩っていました。

温室内は温泉熱を利用したボイラーで室温15～20度に保たれ、年間を通じてさまざまな花が栽培され、5月頃からはサルビア、ペチュニア、マリーゴールドなどが目を楽しませてくれることでしょう。

どなたでも鑑賞できますが、時期によって花がない場合もあるので、事前にお問い合わせください。電話25-3711、場所は柏口マン荘の裏。土日祝日は休み。